

老医のうたた寝のよう

（旧松野医院・にかほ市平沢）



【所在地】にかほ市平沢旭町63
※内部に立ち入っての見学はできません。

JR羽越本線の仁賀保駅前から歩いて数分のところに、目を見張るほど美しいレトロな木造洋風建築がある。大正8年建築の松野医院の建物だ。院長の松野英之先生は高齢のため先年引退、後継者もいなかったことから、この建物は地域住民に惜しまれつつ医院の看板を下ろした。

いったいに古い病院建築は威厳や品格といったものを感じさせる建物が多いが、その中でも松野医院の美しさは抜きん出ている。文化財級の価値があると言ってもいいのではないだろうか。松野家はもともと伊達藩の武家の家柄だったそう。その矜持が、このような風格のある建物に現れたのだろうか。この建物を建てたのは先代の院長、松野先生のお父さんだが、その夫人が地元の名家の出身だったため、ここからの援助もあったと推察される。

十数年前に仁賀保駅前周辺では区画整理事業があった。この松野医院も対象になっていたが、地域住民からの外観を残してほしいという声があり、それに応えて松野医院は曳き屋でほぼ原形をとどめたまま移築した。それほど地域の人々に愛され、松野先生も心意気で応えた建物だ。

現在この建物は、高齢の松野先生に代わって親族の方が手入れ管理をされている。お話をうかがうと、地域がこの建物をいい形で残してくれるのなら前向きに検討したいとのことだった。

山形県酒田市には松野医院とほぼ同時期に建てられて日和山公園に移築保存されている旧白崎医院の例があるが、松野医院は同じように単に保存するのではなく、人々がほがらかに集うサロンのようなものにも改装できたら、長年地域の人たちに愛されてきたこの建物の「第二の人生」として、ふさわしいのではないかと思うのだからだろうか。

（文／己戸春策・イラスト／堀千里）